

## 再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名： 鈴木 克宗

事業名	一般国道162号 阿納尻～田烏バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	福井県
起終点	自：福井県小浜市阿納尻 至：福井県小浜市田烏			延長	5.4 km	
<b>事業概要</b> 一般国道162号は京都府京都市を起点とし、福井県小浜市から若狭湾沿岸部を經由し、敦賀市に至る延長約126kmの主要な幹線道路であるほか、嶺南地域間の交流と連携の強化を図り、広域観光ネットワークを形成する重要な路線である。 阿納尻～田烏バイパスは、幅員狭小、線形不良の未改良区間を解消し、安全で円滑な交通の確保と若狭湾国定公園内の観光振興など地域産業・経済の活性化の支援を目的とした延長5.4kmの2車線道路である。						
H3年度事業化	H-年度都市計画決定 (H-年度変更)	H3年度用地着手	H4年度工事着手			
全体事業費	約136億円	事業進捗率	80%	供用済延長	3.8 km	
計画交通量	3,800台/日					
費用対効果 分析結果	B/C	総費用		総便益		基準年 平成17年
	(事業全体) 1.2 (残事業) 2.1	(残事業)/(事業全体) 28/165億円 事業費：27/164億円 維持管理費：1/1億円		(残事業)/(事業全体) 60/200億円 走行時間短縮便益：55/185億円 走行費用減少便益：5/14億円 交通事故減少便益：0/1億円		
<b>感度分析の結果</b> ：残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=1.9(交通量-10) B/C=2.3(交通量+10) 事業費変動：B/C=1.9(交通量-10) B/C=2.4(交通量+10)						
<b>事業の効果等</b> ・地域ネットワークの構築（大型車すれ違い困難箇所が解消される。） ・個性ある地域の形成（若狭湾周辺観光地へのアクセス向上） ・災害への備え（緊急輸送道路ネットワーク計画に位置づけ（一次）） <span style="float: right;">他10項目に該当</span>						
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 国道162号は、若狭湾沿岸集落の唯一の生活道路であり、漁港からの水産物の輸送や若狭湾国定公園内の広域観光ネットワークを形成する重要な道路である。小浜市首長で構成される国道162号阿納、田烏間道路改良促進期成同盟会より早期整備の要望（平成17年7月）を受けている。						
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 現在までの供用区間は事業効果が得られているが、残区間では大型車のすれ違いが困難な状況である。						
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 現在までに約3.8kmを部分供用している。残る田烏地区の約1.6km区間について、バイパス工事を進めている。						
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 海岸部の急峻な地形から工事の進入路が限られ、土質が悪く法面対策や橋梁、トンネル工事等の施工に時間を要したが、残る区間については、平成21年度には全線供用する予定である。						
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 建設発生残土を近隣の他公共事業に流用する等コスト縮減を図っている。						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものである。